

**平成 27 年度**  
**第 2 回 大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会**  
**議 事 概 要**

日 時：平成 27 年 7 月 23 日（木）13 時 30 分～16 時 00 分  
場 所：大阪府咲洲庁舎 23 階 中会議室  
出席者：増田部会長、石川委員、藤田委員、花田委員、谷田委員

**1 開 会**

**2 議事概要**

会議の公開・非公開について審議した結果、原則として公開するが、事業選定にかかる審査については、率直な意見交換若しくは意思決定の中立性が損なわれる恐れがあるため非公開とすることを決定した。

**議題 1 おおさか環境賞の選考について（資料 1）**

推薦のあった府民活動 6 件及び事業活動 10 件の計 16 件について、次の審査基準に基づき、項目ごとに 5 点の配点で評価。

**【審査基準（大賞・準大賞・奨励賞）】**

- ①環境の保全・創造にどの程度寄与しているか。
- ②地域における活動の推進や貢献にどの程度寄与しているか。
- ③広域的又は国際的な普及や波及効果の程度はどうか。他の模範となりうる活動内容かどうか。
- ④先進的・独自のなものであるかどうか。
- ⑤今後も継続が見込めるか。活動期間の長短や実績の大きさはどうか。
- ⑥《加点項目》今後への期待や全体的なバランス等で、上記以外で評価に値する事項がある場合に加点。

各審査委員の評価点の平均点（小数点以下第 2 位を四捨五入）による順位付けを踏まえ、大賞、準大賞、奨励賞にふさわしいと思われる活動を選考した。

また、大賞、準大賞、奨励賞に選定された協働取組について、次の審査基準に基づき、項目ごとに 5 点の配点で評価。

**【審査基準（協働賞）】**

- ①協働取組の適切な役割分担が認められるか。
- ②協働取組によるメリットが認められるか。

③《加点項目》その他 協働取組に関して特に評価すべき内容があるか。

各審査委員の評価点の平均点（小数点以下第2位を四捨五入）による順位付けを踏まえ、協働賞にふさわしいと思われる活動を選考した。

選考の結果、推薦のあった16件のうち、府民活動1件が大賞、府民活動1件及び事業活動2件が準大賞、府民活動3件、事業活動3件が奨励賞（奨励賞の活動のうち府民活動1件、事業活動1件は協働賞も受賞）となり、府民活動1件、事業活動5件が選外となった。

## 議題2 一園一室木のめくもり推進モデル事業の審査について（資料2）

応募のあった12園について、次の審査基準に基づき、項目①～⑤では各5点、項目⑥では25点の配点で評価。

### 【審査基準】

- ① 地域交流の場が設定されているか。
- ② 「おおさか材」の需要拡大につながる波及効果が見込まれるか。
- ③ 木材が持つ長所を活かした施工内容となっているか。
- ④ 事業経費に妥当性があるか。
- ⑤ 整備後の維持管理体制が適切に計画されているか。
- ⑥ 《加点項目》「おおさか材」の使用割合・使用量、木質化面積。

審査については、各委員の評価項目ごとの評価点の合計点数の平均点により事業の順位付けを行った。

審査の結果、上位となった6件について、補助することが適当と認められた。

## 議題3 その他

事務局から環境保全基金の今後の活用方針について、次回以降の部会で検討したい旨の説明の後、意見交換を行った。

### ① 事務局からの説明

- ・環境保全基金については、本部会で次年度の事業等について御審議いただいている。
- ・現在、18億円強の基金残高があり、原則として基金運用益を活用して事業を実施することとなっている。
- ・しかし、昨今の超低金利もあり、ここ数年は毎年いただいている御寄附の範囲で取崩を行っている。（基金残高は減っていない。）
- ・現状では実施可能な事業が非常に限られており、環境の保全と創造に資するという目的、また、御寄附いただいた方の思いを十分に生かしきれていない。
- ・については、次回以降の部会で、本基金の更なる有効活用について、御検討をお願いしたい。

② 委員の意見

- ・本基金への寄附はふるさと納税の対象なので、もう少しPRすれば増収できると思う。増収努力も若干必要。
- ・基金は一般府民に見えにくいところ。活用にあたっては、事業の内容も大切だが、中長期的に基金をどう考えていくかというものがまず必要である。
- ・事業を実施する際に5年を目途に一旦評価して、その結果、効果が検証できたのなら、また期間を延ばせればよい。事業を作ったらそのまま継続するのではなく、2～3年は短いと思うが、5年ぐらいで抜本的な事業の見直しをすることを示した上で、取り崩すべき。そうすれば府民や寄附者に対して一定の説明責任が果たせる。
- ・地球温暖化や日本全体のグローバルな課題も重要だが、府が抱えているローカルな問題をどうするか、大阪らしい環境問題があるように思う。そのあたりについても検討いただきたい。

③ 結果

委員意見を踏まえた事務局案を次回以降の部会で提示することになった。

3 開 会

以上